

やりたいことを本気で考え、企業と共に顧客の感動を実現！

顧客価値共創プログラム

Customer Value Co-Creation program

【第1期】参加者募集

2025年10月開講

参加費
無料

プログラムの特徴

01

「マーケティング」や
「ビジネスプランニング」を
実践で学べる

02

講師や参加者と議論し
自分のやりたいことが
見つかる、形にできる

03

最終発表で選ばれた
企画は企業と一緒に
社会実装を目指す

プログラムの概要

参加企業



オリエン

参加学生



講師



企画制作／プレゼン



選抜

顧客の感動
(社会実装)

週1回90分×8週間＝2ヶ月

6ヶ月～1年

講師(例)



KANDO株式会社 代表取締役 高橋 輝行

東京大学大学院理学系研究科卒／デジタルハリウッド大学院DCM修士。
2000年、博報堂入社。営業職としてベネッセコーポレーション、アスキー、ゲーム会社等の 広告ブランディングを推進。その後、SBIグループの知財コンサルティング会社を経て、2007年に経営共創基盤(IGPI)に参画。チケットぴあに出向し経営再建を主導。2010年KANDO株式会社を創業、中堅・中小企業を中心に100社以上で新商品/新事業開発プロジェクトを推進。2020年に10年かけて開発した世界初の価値創造のチームマネジメントメソッド「Roles®」をリリース。大阪公立大学／桜美林大学・大学院非常勤講師(リーダーシップ/チームマネジメント専門)

人の心に刺さる新商材とブランドを
企業の力を借りて社会実装し、
バリューを出せる学生になろう！

MUIC協賛企業や、全国のMUFG取引先企業へ提案可！



内容

本プロジェクトでは、大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く」を継承し、人を感動させる商品、サービスの創造に挑戦してもらいます。「自分が幸せにしたい顧客は誰か？」「強みを活かして提供できるユニークな価値は何か？」を考え抜いて、自分が本当にやりたいことを見つけてください。あなたの「やりたいこと」をカタチにして、私たちと一緒に社会実装を目指しましょう！

対象

- ・新商品や新サービスの企画に興味がある人
- ・新ブランドをを0から立ち上げる経験がしたい方
- ・就職活動に向けて質の高いアウトプットに挑戦したい方

募集人数

3～5名 ※募集人数を越えた場合は選考

日程

第1回「オリエンテーション&担当者プレゼンテーション」は対面で、他大学との合同開催になります。

【日時】10/10(金) 18:30～20:00

【場所】MUIC Kansai (御堂筋線「淀屋橋」駅)

A日程 (大阪大学と合同実施) : 10/22-12/3 毎週水曜

B日程 (大阪公立大学と合同実施) : 10/24-12/5 毎週金曜 時間 : 18:30～20:00

	A日程	B日程	
第2回	10/22	10/24	方針の「4つのW」(Who, What, Why, wish) を考える
第3回	10/29	10/31	議論を通じて方針の「解像度」を上げる
第4回	11/5	11/7	企画の「2W2H」(4W+Where, When, How, How much) を考える
第5回	11/12	11/14	議論を通じて企画の「解像度」を上げる
第6回	11/19	11/21	企画の「ビジネス構造」と「収支構造」をアウトプットする
第7回	11/26	11/28	相手をハッとさせる「伝え方」を突き詰める
第8回	12/3	12/5	企業へのプレゼンテーション&担当者からの講評

※第2回-7回はZoom開催

※第8回 対面開催で、場所はA日程 : MUIC Kansai / B : I-Siteなんば (大國町)



プロジェクト担当者より一言

MUIC Kansaiは三菱UFJ銀行が設立した「観光・インバウンド・環境・健康・食・エンタメ」をテーマとしたオープンイノベーション拠点です。

関西を代表する大企業、勢いのあるスタートアップ企業とともに、社会課題解決に向けた新規事業の創出ならびに社会実装の取り組みを推進しています。

KANDO社との本プログラムは3期目になります。過去参加学生より「0から事業をスタートするために必要な思考法を身に付けることができた」「一緒に参加した学生や高橋さんから毎週アドバイスをもらうことで、自身のサービスの解像度をより上げることができた」「非常に楽しく苦しい2ヶ月間！」などの感想をいただいております。

企業と本気で向き合える貴重な機会です。熱い気持ちを持った学生の挑戦をお待ちしています！

MUIC Kansai マネージャー 渡邊千理

会社HP

<http://www.muic-kansai.jp/>



多くの先輩たちが社会で活躍しています！

起業：ネイル整形サロン「VISOK」



大阪公立大学CVCC第1期生
大阪公立大学大学院 看護学研究科
博士前期課程2年(参加時1年)
蔭西訓子さん

ビジネスの本当のコアなところのエンドユーザー視点を学ぶことができ、それを原点として今も毎日思い出しながら事業をやっています。

<アドバイス>

私と同じように、自分の強みを活かしてビジネスをしたい人は絶対に参加された方がいいと思います。売上や儲けを考えるよりも先に、顧客の感動体験を突き詰めることがビジネスの原点、働くことの本質だと気付けます。そこに早いうちに気付けるかどうかで、その先自身の強みの磨き方が大きく変わるような気がします。

私は大学院に入る前、足専門の看護師の仕事をしていた、自分の看護師の技術を活かしたビジネスをしたいと思って参加しました。CVCCでは、数字を元に儲かるビジネスを考えることの難しさを痛感しましたが、自分の強みを活かして、顧客や提供価値を突き詰めることの面白さを実感しました。

社会実装：井筒八ツ橋本舗「Yatsuken」



大阪公立大学CVCC第2期生
大阪芸術大学 デザイン学科
グラフィックデザインコース4年(参加時3年)
金澤夏那さん

のが初めての経験で苦労しましたが、自分の大きな成長に繋がりました。

<アドバイス>

恐れずに挑戦してみることが大事だと思います。私はお菓子が好きで、その魅力を人々に届けたいという想いがモチベーションになりました。好きなことと得意なことが重なると力が発揮しやすく、結果にもつながりやすいと思います。いろんな人が参加して、新しい価値がもっと世の中に生まれていったらいいなと思います。

もともとパッケージデザインに興味があって、募集テーマと合致したので応募しました。他の人との意見交換や、産学協働で学べる機会が貴重だと感じたことも大きな理由です。CVCCでは、週一回のミーティングでプレゼンを行い、実際の顧客をイメージしながら、お菓子やパッケージデザインを具体化する

全国のCVCC大学生の声

このプログラムに参加して、毎週の発表を通して自分の考えがどんどん深まっていくだけでなく、他の参加者の考えもどんどん深まっていくのを見てよい刺激をもらいながら、参考になる部分を真似したりしてたくさんのことを学ぶことができました。(広島大学 教育学部 1年)

どのようにビジネスを始めていくかのプロセスについては、このプログラムで大きな学びを得られたと思う。今まではビジネスと言えば、大きく社会を巻き込んでやるものだ、という先入観があったが、本来のあるべき姿とは、「欲しがる買い手が存在する」といういわば商人の姿であり、それは必ずしもたくさんの買い手を必要とするわけではなく、むしろ小さなところから始めていくことが大事だと感じた。(大阪大学 経済学部 2年)

正直、学業との両立は簡単ではありませんでしたが、だからこそ最後までやり切れたことに大きな達成感があります。講義を重ねるごとに、自分のアイデアの解像度が少しずつ上がっていき、最終的には自信を持って企業の方々の前で発表できるまで形にすることができました。普段の学生生活では得られない、実践的で濃い経験を積むことができ、本当に参加して良かったと感じています。(立命館大学 薬学部 3年)

日々の仕事と育児と家事、修士論文を書き進めながら毎回の課題は負担が大きく、正直仕事を理由に辞めようかと数回思いをよぎることがありました。しかし、同じ受講生の学生さんの真っすぐな熱意、資料作り、毎週改善される内容に非常に励まされ修了することができました。本当にメンバーに助けてもらいました。(大阪公立大学 都市経営研究科 2年)

選抜された先輩たちが、社会実装に向けて挑戦しています！

申込方法



Step1

申込みフォーム
にアクセス



<https://forms.office.com/r/UUUbUfN8AtE>

Step2

必要事項を入力



Step3

10月3日(金)まで
にメールで通知



定員を超えた場合は、下記「選考基準」により選考。キャンセルは原則不可です。

申込・参加の際の注意事項

申込期限

2025年
10月1日(水)
12:00

選考基準

- 1) 本プログラムで実現したいこと
 - 2) その理由 (想い、原体験)
 - 3) 発揮できる強み
- ※企画力、デザイン力等

最終アウトプット

企画書の提出と
プレゼンテーション

大学からのメッセージ

関西学院大学 社会連携・インキュベーション推進センター長 片山 順一



「この顧客価値共創プログラムは、皆さんの「アイデア」と「強み」を出発点に、企業とともに社会に新しい価値を生み出す挑戦の場です。実際の企業課題に取り組み、週1回×2か月の集中プログラムを通じて、企画を考え、磨き上げ、提案していきます。

実務経験豊かな講師や企業担当者との対話は、教室の学びを実社会で活かす大きなステップとなるでしょう。採用された企画は社会実装や事業化に結びつく可能性もあり、皆さんの発想が実際のビジネスを動かす瞬間を体験できるかもしれません。これまでの事例のように、新たなブランドやサービスが生まれ、社会に届けられることもあります。

関西学院大学はスクールモットー「Mastery for Service (奉仕のための練達)」のもと、学生一人ひとりが学びを社会に還元する挑戦を後押ししています。失敗を恐れず、一歩を踏み出してください。仲間とともに議論し、協働する過程そのものが、あなた自身の成長となり、未来を切り拓く力になります。あなたの挑戦が、新しい価値を生み出す原動力となることを期待しています。」

本プログラムに関するお問合せ

関西学院大学社会連携・インキュベーション推進センター

E-mail : kgshakairenkei@kwansei.ac.jp